

在宅医療現場の患者様やご家族への効果に関する研究報告

(共同研究者／牧園寿賀子)

I. ソシオエステティック実施にかんしての協力者について

□ケース 1. 協力者が看護師の場合

協力者（看護師）⇒理事⇒医師⇒患者もしくはご家族

これらの方全てに、説明・協力依頼・了解・内諾が必要。

それぞれに日常のお仕事を抱えた上での行動になるので、時間がかかる点が問題。

□ケース 2. 協力者が一般者の場合

協力者（一般者）⇒知人の社協の方⇒在宅の家族会⇒ケアマネージャー⇒ご家族⇒患者様

まずソシオの説明・研究の説明・施術の内容の説明で時間がかかる。

美容というと化粧品販売なのかと思われ、まだまだエステティックまじりやソシオエステティックのマイナー性に気づかされる。

患者様のお顔や現状の様子が全く見えない。間にはいる人が多すぎてなかなか患者様まで行き着かない。

□ケース 3. 協力者がご家族の場合

協力者（ご家族）⇒患者様

担当エステティシャンと直接面識がある為、ソシオに対する理解もあり実施まで短時間で可能。信頼や安心がお互いに持て、スムーズに実施できる。

□ケース 4. 協力者が医師の場合

協力者（医師）⇒担当患者様

⇒患者様のご家族

⇒訪問看護師

協力者が医師の場合、説明・協力依頼・了解・内諾に関しての全てが患者様やご家族に対してスムーズに行われる。また、ソシオエステティックにたいして実施前から期待感を持たれエステティシャンに対しても信頼感を持たれることが多い。

上記、在宅現場へのソシオエステティック実施に関する協力者がケース 1・2 の場合、実施に至るまでに時間がかかりすぎました。その為、協力者をケース 3・4 へ変更しアプローチした結果、スムーズに実施することが出来ました。

ソシオエステティックについての理解不足や効果を疑問視するという方々に対しての協力依頼には、かなりの労力が必要でした。しかし、既にソシオエステティックについてご存じの方々や担当医師からの紹介であれば、患者様やご家族に不安感や不信感は無く、問題なく実施ができました。このことから、今後在宅現場でソシオエステティックを普及する為にはケース 3・4 の様

に既に面識のある患者様やご家族に対して直接的にアプローチするか、在宅医療を実施されている医師からの紹介を受ける事が最善と思われます。

Ⅱ. 在宅の患者様の病状によるご家族への効果について

□ ケース 1. 認知症 (介護者：娘さんの事が多い)

ソシオエステティックを受けられた後の患者様が精神的に落ち着かれること、表情が明るく元気を取り戻されること、また、身だしなみや言動が認知症発症以前の状態に戻られる事などからご家族にとって、心が穏やかになられる様子が伺えます。

患者様のご様子の変化から、ご家族ご自身もソシオエステティックに興味をもたれ施術を受けられる方も多く、日頃の介護による疲れを癒され笑顔になり、お部屋を整え、エステティシヤンの訪問を心待ちにされる様な変化がみられました。

□ ケース 2. 交通事故による外傷性脳内出血後遺症 (介護者：お母様)

寝たきりで身体が動かせず言葉も出ないが、ご家族は回復を信じ介護されています。20年近く現在のままの状況だったのが今回のソシオエステティックの実施にあたって、メイクを一度もした事がないので女らしい事をしてあげたいとご希望されました。メイクの方法やメイク落としの方法などを教えてほしいと言われ積極的に関わってこられました。ご家族へのソシオエステティックがご本人の疲労回復に繋がることは勿論ですが、患者様への接し方の変化にも繋がりました。施術を受けたことから、簡単なマッサージを患者様に施されるようになりました。回を重ねるうちにエステティシヤンへの信頼も高まり、終了時には継続の希望を持たれるようになりました。

□ ケース 3. 脊髄小脳変性症 (介護者：ご主人)

寝たきりで人口呼吸器を使用。表情や反応がほとんど見られない方ですが、ご主人がつきっきりで介護されていました。ソシオエステティックに関しては、ほとんど知識がなくエステティシヤンに対しても初日は無表情で会話もなく、担当医からの紹介だったので実施を引き受けただけとの様子が明らかに伺えました。ただ、施術後は患者様に優しくお声掛けをされていました。4回目の訪問あたりからエステティシヤンに対しても会話が増え、時折笑顔も見受けられるようになりました。評価表は、全て空欄。写真撮影をお願い出来る雰囲気ではなく、エステティシヤンにとっては毎回緊張を感じながらの実施でしたが、10回の訪問を経過する頃には暖かく迎えて下さる様に変われ、写真撮影も一度でしたが許可を頂きました。また、ご主人の趣味のお話などもされる様になり、今回のソシオエステティックの実施に対してもご理解を頂けるようになりました。

□ ケース 4. 心不全・気管支喘息・肺気腫 96歳 (介護者：娘さん)

車いすだがトイレは自力可能の方でした。とてもお元気な方でスキンタッチでコミュニケーション

ンは可能でしたが、3回訪問後他界されました。訪問当初から介護者も含め、ソシオエステティックをととてもご理解いただき快く迎えて下さいました。施術中の様子や生活のなかでのお話も積極的にされ、ご家族も一緒に癒されているのがわかります。患者様が高齢者の場合、介護者は戸惑いよりも患者様にとって何が嬉しいのかを考えられ、様々なケアを受け入れられている様に思います。お悔やみに伺った時に、施術中の写真をお持ちしましたが亡くなるまえにソシオエステティックを受けられたことに対して心から喜んで頂きました。

□ ケース5 難病指定 (介護者：娘さん)

初回の訪問時にソシオエステティックの実施に関して、不満を表されました。担当医師の紹介にも関わらず、患者様にとって不自由になってから美容ケアをしても意味がないとの考えをもってあり、ソシオエステティックを受けるくらいなら介護者への整体やマッサージなど他のサービスを介護者自信が受けたい。とのご希望でした。二度と訪問してほしくないとのご希望でしたので、1回のみで終了せざるを得ませんでした。

上記のように、ほとんどの在宅医療をされている患者さまやご家族の方々に喜んで頂き、ソシオエステティックの有効性や効果を認識していただけましたが、ケースによってはソシオエステティックに対して不満をお持ちの方がいらっしゃることも分かりました。今後も考察を行いたいと思います。

III. 満足度評価表（ご家族記入のもの）について

今回、添付の満足度評価表を毎回ご家族に記入をお願いしました。ソシオエステティックの有効性やQOLの向上などの評価を数値化して表すことが出来ないかということも今回、研究したい事でした。ただ、在宅の患者様の病状は、様々であったため評価基準の内容に適合性がみられない部分もあったので、今後の検討課題となりました。

IV. 在宅医療現場の患者様やご家族と地域との関わりについて

ご家族と地域との関わりに関しては、満足な調査や研究ができませんでした。まだまだ、ご家庭内での問題が多いことを感じました。また、家族会などが開催されていても参加者が一定ではなく、老老介護の現実に触れると地域からの多様な関わりの必要性を感じました。今回は、ご家族の方々にもソシオエステティックを受けて頂き、ストレス解消やこころのゆとりにつながる可能性が検証されましたが、地域の中に広げるには今後の取り組み如何だと思われま

V. 今後の可能性について

ソシオエステティックについての認知度が在宅医療現場に於いてまだまだ低いことが分か

りましたが、今回、多くの医療関係者やご家族、そして患者様にソシオエステティックの施術をさせて頂くことで、ソシオエステティックの効果に触れて頂くことができました。患者様だけではなく、ご家族からも継続の要望がでています。現実には、対価を支払ってもソシオエステティックを受けたいと思っている方、既に対価を支払って喜んで施術を受けている方がいらっしゃるという現実には今後のソシオエステティックの広がりの可能性を期待できると確信しています。今後とも在宅医療現場のQOLの向上に繋げ、介護職を支える世代の職業モデルとしての提案をして可能性を広げていきたいと思っております。

在宅医療におけるソシオエステティックの有効性について ケース1

(火山由美／福岡市)

訪問看護師の方からのご紹介で3回訪問しました。ご高齢によりベット上での生活です。車イスから移る時は2～3歩あるけます。おむつは、患者さまのご希望でせずトイレは自力でされていました。あまり外出もできないので、いろんな形での訪問が難しいとの事でした。夏でも手足が冷たくなって眠りが浅く寝付かれない事がよくあるそうなので、娘さんの希望でマッサージ中心に実施しました。ソシオエステティック後は、手・足（指先）が温かくなり、持続して良く眠れたとの事でした。3回の訪問でしたが、患者様も介護者イライラが少なくなってきました。

ケースNo.	1
名前	S.H
年齢	96
性別	女性
居住地	福岡
病名	心不全・気管支喘息・肺気腫
症状	車いすからの移動など2～3歩、歩ける。トイレは自力でできる。お話し好き。
経歴	ほぼ、ベット上での生活。簡易トイレ、お茶を飲む、自力でできる。話できる。
介護者	娘さん(67)
施術者	火山由美
開始月日	平成23年10月18日～11月17日 4回 死亡(12月)により終了
施術内容	○両手足マッサージ、フェイスケア
経過(本人)	手足が冷えるということで、手足マッサージ。スキンタッチでコミュニケーションとる。にこやかにされている。
効果(本人)	○両手足マッサージにより夕方まで暖かくなった。○人と接触することで反応がよい ○うれしそうに笑っていました。○死亡により終了
評価(本人)	(4)マッサージにより、手足が暖かくなった。お話が弾んだ。(介護者)
経過(家族)	介護していると、夜寝られない時などあり、イライラする時がある。
効果(家族)	○さっぱりして穏やかな表情です(ご本人)
評価(家族)	(4)○次回が楽しみ○本人とけんかをしてもしり替えられる。 火山由美(エステティシャン)
コメント(施設)	(5)本人も喜んでいらした。ご家族がとても喜んで下さり訪問日を楽しみにされていました。途中で中止となってしまったので施術して下さった火山さんに気の毒な思いをさせてしまったような気がします。
評価(施設)	吉田 比登美 (糸島市医師会訪問看護ステーション 看護師)

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による旨

在宅医療におけるソシオエステティックの有効性について ケース2

(火山由美／福岡市)

訪問看護師さんからのご紹介で合計18回訪問させて頂きました。中学3年の時に交通事故にあい自力で身体が動かせない状況があり、両手の緊縮もありました。とても手足の先が冷たく乾燥もあったので乳液をつけながらマッサージを中心に施術しました。ただ知らない人に触られたのが怖かったのか身体をきゅっとしめて硬くなってしまいました。お母様の声掛けなどのご協力によりだんだんと力が緩和されますが、私の声で又、きゅっと硬くなりました。お母様が手を握ったりしてその間にゆっくりした声かけをする事により落ち着いてきました。3回目4回目の訪問の時、介護をしている家族の方が言われる色々な言葉の中にマイナスの言葉が出てきました。事故に会って以後3日、1ヶ月、3ヶ月、1年、と必ず良くなると信じて来られたそうですが、年数がたつとだんだん家族の中でもうすれてくるのを感じているそうです。人も時々ウツになったりしていても介護者だけは必ず良くなると信じていると言われていました。私がテレビ番組で聞いた「色々することで成功は必ずしもしないけど成長はしていく」という言葉に共感しましたと伝えたら「本当にそうですね」と言われました。10回目の訪問の時に「娘の心は不自由ではない。生きている人間として接する事が大事なんだ！」という言葉聞いて嬉しく感じました。介護者がだんだんと一緒にマッサージをしてあげたいと変化され、タッチの仕方、マッサージの方法、力の入れ具合を覚えて下さり一緒にするようになりました。12回目の訪問の時にはご自分で工夫され足をほぐしおむつ替えをしたら股関節のところが動きやすくなりオムツ替をしやすくなったそうです。このことがあってから介護者の行動や発言がだんだんプラスになってきました。他のご家族への接し方がやさしく変わりました。患者様も力が入らなくなりソシオエステティック中に眠ってしまったり、ラジオの音に声を出して合わせたりしてリラックスいた様子が出てきました。毎回の笑顔も増えた様に思います。最終日にはお別れをお伝えするとうっすらと涙がにじんでいました。楽しみにされていたのだと改めて思いました。

ケースNo.	2
名前	H・O
年齢	33
性別	女性
居住地	福岡
病名	外傷性脳出血後遺症 左手に疥癬(ほぼ、一か月(平成23年11月)で完治)
症状	肌の乾燥 両手の硬縮 会話できないが声は出る(けいれん発作により入院(24.3/12~4/12))
経歴	中3の時、交通事故にあつて寝たきり。両手、両足硬縮がある
介護者	母
施術者	火山由美
開始月日	平成23年11月1日~平成24年8月9日 17回
施術内容	手指・両足マッサージ(疥癬部分は除く) 顔の拭き取り・マッサージ メイク 爪ケア(オイル塗布) 眉カット 介護者(母)への肩、首、頭のほぐし
経過(本人)	血行促進のための手足のマッサージから、フェイスのマッサージ。メイクへと女の子らしく。
効果(本人)	介護者以外の人には、身体をかたく力が入っていたのが、少しずつゆったりするようになり、ラジオの曲に声を出したり、眠ったりするようになる。
評価(本人)	(3)楽しそうに、ときどき、声が出るようになってきた。(介護者)
経過(家族)	介護者(母)も毎回たのしみにしてる。介護者(母)も一緒にマッサージするようになる
効果(家族)	足の動きが、少し良くなって着替えが楽にできるようになった。プラスに考えるようになった
評価(家族)	(5)家族が明るくなり、プラスの空気を感じる。触れかたで心が通じる気がする。 火山由美(エステティシャン)
コメント(施設)	(5)若い方への施術はとても効果があったと思う。それだけ神経系統への刺激もおおきかった。 終了時、Hさんが残念がった気持ちが伝わってきました。
評価(施設)	吉田 比登美(糸島市医師会訪問看護ステーション 看護師)

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による旨

在宅医療におけるソシオエステティックの有効性について ケース3

(火山由美／福岡市)

訪問看護師さんからの紹介で18回訪問しました。ほとんど反応がなく自力で身体を動かすことができず、喉に人工呼吸器を装着しているので声も出せない状態でした。まぶたのピクピクとした痙攣と、手をかすかに握り返すだけの反応がありましたが、通常は声かけをしても反応がないのでコミュニケーションをとるのが難しく感じました。介護者のご主人もソシオエステティックに対する疑問と不安を持たれている様子で、「反応がないから、お役に立てないかもしれませんよ。」と言われ心の壁を感じました。全ての人にすぐに受け入れられるとは思っていませんでしたが、私自身も身が引き締まり苦手意識を感じてしまいました。しかし、どんな事でも受けとめてその中で出来る事をみつけて行こうと思いました。デジカメで写真をとって頂こうとお願いしていましたが、写して頂けませんでした。その中でも3回目に手と足の指先が赤いのは、どうしてだろう？という問いかけがありました。原因は、皮膚科の医師にも分かりませんでしたが、ご主人からの問いかけがある事が大切だと思いました。6回目には、患者様のお顔の湿疹を気にされていましたが、アドバイスに従い温度調節を下さると言われたのが嬉しかったです。初回に、「肌がよわいので何もつけなくて施術して下さい。」との事でしたが、4回目には指先へのオイルがOKになり、6回目には乳液塗布がOKになりました。肌にとって何もつけないよりは、保湿することが肌に良い効果がある事が分かって頂けました。10回目には、次回にたいする要望があり11回目には写真撮影の許可ができました。施術後に時間をとって下さりコミュニケーションも出来る様になりました。次第に、少しずつの変化がうれしく笑顔もふえてきました。介護者からのお考えとして、看護師、介護士と連携がとれると安全性ややり易さがでてくるのではと言われていました。また、反応がない人に対しては、むずかしいのではと言われてありました。「いつも2人だけなので、こうやって訪問して頂け、話が出来て良かったと思います。」と言っていただけました。最後には、遊びにきてくださいと言われ対応が変わってこられたので、ソシオエステティックは心のケアとしても大切だと思いました。

ケースNo.	3
名前	M.K
年齢	70
性別	女性
居住地	福岡
病名	○脊髄小脳変性症(特定疾患)
症状	○顔全体が赤い、両ほほに赤いぼつぼつ ○反応はない ○人工呼吸器装着 ○寝たきり ○肌が弱い ○どちらかの手の指にセンサー装着
経歴	寝たきりで、反応がほぼない。
介護者	夫
施術者	火山由美
開始月日	平成23年10月18日～平成24年8月9日 18回
施術内容	○右手指・両足(膝から下)マッサージ ○顔はおでこから上をマッサージ ○肌が弱いので何もつけずに施術する(6回目より、乳液をつかって、保湿) ○足つめにオイル塗布(3回目より)
経過(本人)	当初、肌の乾燥がなかったが、乾燥がみられたので、乳液をつけた。手足の第一関節までの指先の赤味はとれない。足の爪にオイルをぬる。途中(3月、7月)入院。眉カットご希望。
効果(本人)	○本人に反応がないので、介護者(夫)からあまり変わっていないとのご意見 ○介護者(夫)とはだんだん笑顔でお話できるようになってきました。
評価(本人)	(3)○ほとんど変わりが無い ○肌の保湿がだんだん良くなってきている。(介護者)
経過(家族)	本人に変化はないように思う。2人だけの生活の中の訪問は、変化があつて良いと思う。
効果(家族)	○介護者の笑顔がみられるようになった ○施術者とのコミュニケーションも良くなってきた
評価(家族)	(3)反応が少ない本人にどこまで、効果があるかはわからない、笑顔で会話ができるようになった。 火山由美(エステティシャン)
コメント(施設)	(3)夫が介護者であった為、「エステ？」と初回の反応は不明ですが、終了する頃には「こんな職種もあるのかな？」と受け入れてもらえた気がします。訪問看護では、ゆったりとした時間が取れない事も多く、とても助かりました。
評価(施設)	吉田 比登美 (糸島市医師会訪問看護ステーション 看護師)

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による旨

在宅療におけるソシオエステティックの有効性について ケース4

(山口明子／福岡市)

社会福祉協議会等を通じてご紹介をお願いしましたが機関を通じての紹介は難しくサロンのお客様のお母様が脳梗塞で倒れられて以来お世話をされている事を伺っていたのでその方に今回の公益財団法人勇美記念財団の助成における在宅医療の研究の話をしましたところ是非お母様に体験させたいとお返事をいただき6回訪問しました。協力いただいた理由には同居し主にお世話をされているお父様に自分の時間を作って体と心をリラックスして欲しい事、足が不自由になられ言葉もはっきり出られない状態で家にこもりっきりになられているお母様の生活に変化をもってほしい事でした。

頻繁にお世話に通われている娘さんが5月より月に2回お母様を車に乗せて自宅に連れてこられソシオエステティックの施術をうけられました。私がお会いする時は穏やかな感じですが毎日一緒に居るお父様にはわがママが出られるそうでソシオエステティック実施の日はお父様もゆっくりしていただけたようです。

2回目くらいまでは少し緊張されているようでしたが回を重ねる度に待っていて下さるようになり、メイクをされた日は何度も鏡を見られていつもとは別人のような笑顔になります。以前は花道の先生をされてとてもおしゃれな方だったようですが倒れられてから洗顔やスキンケア等一切されなくなって洋服もアンバランスな組み合わせになられていたのがソシオエステティックの施術を受けるようになって服のバランスが良くなってきたと娘さんが言われていました。娘さんが2回お花を準備されていてお花を活ける所を見てあげてと言われ見せていただきました。メイクをされお花を活けられている姿は日頃とは別人で言葉もその時ははっきりと出られ娘さんと一緒に大変驚きました。これまでいろいろなサービスを受けたらどうかとお母様に紹介されたそうですが拒み続けてこられたそうです。今回のソシオエステティックは楽しみに受けられていたのでできればこれからも利用したいと言われています。

在宅で医療を受けられて方達はいろいろな要望をもっていらっしゃると思います。その中にはソシオエステティックを必要とされている方達が沢山いらっしゃると思いますがご存知ない方達が多いのが現実です。これからもソシオエステティックが広まって豊かな生活ができるサポートを続けていきたいと思っています。

ケースNo.	4
名前	E.S
年齢	86
性別	女性
居住地	福岡
病名	脳梗塞(6年経過)
症状	○右足、言語が不自由
経歴	○以前はお花の先生をしていた ○おしゃれにきをつかっていたが、今はそれができない ○谷口様のご自宅に月2回連れてこられた時に施術する
介護者	ご主人・谷口路子(娘さん)
施術者	山口明子
開始月日	平成24年5月16日～平成24年7月31日 6回
施術内容	○ハンドマッサージ ○保湿 ○フェイシャルマッサージ ○メイク
経過(本人)	○保湿しマッサージすると顔色が良くなる
効果(本人)	○メイクをすると笑顔になる ○発語も活発になる
評価(本人)	(5)○鏡を何度も見る ○笑顔がでる ○うれしい ○外出の意欲がでる (介護者)
経過(家族)	○谷口様へのフェイシャルマッサージ ○介護している父に心と体を休めてもらいたい
効果(家族)	○母の笑顔を見るとこちらも元気がでる
評価(家族)	(4)お父様には自分の時間を作ってもらえ娘さんはお母様び元気な笑顔を見られる事で穏やかな気持ちになられた。山口(エステティシャン)
コメント(施設)	施術前後の笑顔の変化を拝見すると人と触れ合う事で心も身体も目覚めて行く感じがします。その変化が言葉となり笑顔となる事で家族様にも喜びとなられると思います。触れ合う事で重くなった心が開かれていく様に癒しの力の大きさを感じています。
評価(施設)	松浦 美知枝 (ケアマネジャー)

在宅医療におけるソシオエスティックの有効性について・ケース5

(光江弘恵/東京都)

先生からの紹介ではなく、急に具合が悪くなって在宅で治療を受けている方がいるが、お世話されている娘さんも大変そうなので声をかけてみたらどうか、とサロンのお客様よりご紹介いただきました。

ご連絡差し上げたところ、変形性膝関節症が悪化し動くたびに痛みが強く、お一人暮らしでしたが嫁ぎ先から次女の方に帰ってもらい世話になっているとのことでした。

美容ケアが少しは癒しの時間になればと思い合計5回訪問しました。

急な悪化でしたので、在宅でのケアを受けるような状況になっておらず本当に大変そうでした。ベッドがないのでふとんの上でのオムツ交換や食事などの世話をされ、寝具の周りに薬や痛みを紛らわすための本やCDなどが置いてある状態でした。立っていることができないので顔もタオルで拭くだけの日々でしたが美容ケアでゆっくりマッサージをしてスキンケアを行ったところとても気持ちが良いと喜ばれました。ケアの間中、痛みがどれくらい辛いかをお話されました。ご本人の後、お世話をされている次女の方のケアを行いました。痛みが強く辛そうなので優しく接したいが、家事をすべてこなしながらお世話してその上「痛い、痛い」といわれると優しくできないとこぼされていました。自分のことにかまう時間もなく、美容ケアを受けたことで久しぶりに自分を大切にできた気がすると言ってらっしゃいました。

訪問を重ねるたびに在宅ケアのサポートが色々受けられるようになっていて、少しずつ環境も整い余裕が出てきました。お二人の美容ケアが終わると「お母さん、肌つやつやだよ。年よりも若そうに見える。」など笑いが出て空気が温かくなりました。

吉澤先生にこのケースも報告をさせていただきましたが、「ソシオエスティックは患者さまと家族の笑顔を引き出すことに有効だと思う。このケースでも実にそのあたりが訪問の経過とともに現れている」とコメントいただきました。

今回のケースのように在宅ケアを導入する初期段階でかかわりを持つのは、慣れない環境を受け入れていこうとする際に起こるストレスの軽減に役立つと感じました。このような事例を多くの方に知っていただき、必要とする方には美容ケアを取り入れて在宅医療の質がより豊かなものになることを願っています。

今回このような事例研究をするにあたり、助成いただきました勇美記念財団には大変感謝いたしております。NPOとしても今回研究に関われなかったエステティシャンにも、財団から無料で頂いたテキストと共に今回の研究事例を使って勉強会を開催します。(多くのエステティシャンが研究に取り組もうと努力しましたが施設や先生方の協力が得られず患者様を紹介いただけませんでした。詳細は共同研究者が問題としてまとめています)

より豊かな在宅医療の実現に寄与できるよう引き続き活動してまいります。

ケースNo.	5
名前	S.T
年齢	80
性別	女性
居住地	東京
病名	変形性膝関節症
症状	○強い痛み ○寝たきり ○肌の乾燥
経歴	3月中旬に急に強い痛み→寝たきり。朝晩欠かさずスキンケアしていたので、できないことがストレスに。 体位を少しでも移すと激痛
介護者	次女
施術者	光江弘恵
開始月日	平成24年4月20日～6月6日 5回
施術内容	○ハンドケア ○膝下ケア ○フェイシャルケア
経過(本人)	○途中ショートステイのリハビリでまた強い痛みが ○介護者(次女)のストレスが大きい
効果(本人)	○話ができてうれしい ○肌のつやがよくなってうれしい
評価(本人)	(5)○丁寧なフェイシャルケアに満足 ○ショートステイでほめられてうれしい(本人)
経過(家族)	○急な発症だったので、介護認定も受けていず、介護者が泊まり込みで介護 ○相当なストレスを感じ、イライラや不眠を訴える ○ストレスでアトピー発症
効果(家族)	○肌が落ち着いたので、フェイシャルケアとハンドケアを施術 ○声かけすると涙ぐむ
評価(家族)	(5)光江(エステティシャン)
コメント(施設)	疼痛によるストレスの表出に役立ったと考えられる。傾聴、共感、手当によるストレスの表出が良い効果を引き出している
評価(施設)	(5) 吉澤明孝 (医師)

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による旨

在宅医療におけるソシオエステティックの有効性について・ケース 6

(光江弘恵/東京都)

先生からの紹介で合計9回訪問させていただきました。

ご本人はお化粧品など何もしていないとおっしゃいますが、ご家族からは認知症と診断されてからも、朝起きるときちゃんと洗顔をしてファンデーションと口紅をつけて過ごしているということでした。美容ケア（ご本人はエステとおっしゃいますが）初回の訪問を大変楽しみに待っていてくださいました。お世話されている長女の方はご主人をがんで亡くされてその際もご自宅での治療をご希望されたそうです。長年にわたりご家族のご自宅での治療をお世話されているので長女の方にも癒しの時間を作って欲しいというのが先生からの紹介された理由でした。

美容ケアの後はお茶を入れるなど訪問者に対して配慮くださり（2回目以降はご遠慮させていただきました）、末期がんを患っているようには思えないほどでした。でも翌日には訪問したことを覚えていないといわれましたが、帰るまで何度も鏡を見ては嬉しいと言っておられ、その時、そのときを楽しんで、嬉しそうにしている様子を見たりするとほっとすると長女の方が言われました。

長女の方へも同様にケアさせていただきました。2回目はエステの雰囲気が出るようにとアロマを炊いてくださっていました。帰る際にはお二人で玄関先まで見送りに出てくださいました。

5回目の訪問の確認のお電話を差し上げた際に、お正月に玄関先で転んで骨折をしたので入院したと聞きました。訪問の予定日には先生にお断りしてから病室にお伺いしてお話だけして帰りました。（訪問したことは後日ご家族にお伝えしましたが、本人からは伝わっていませんでした。）

退院されご自宅への訪問を再度開始しましたが、これまでの表情とは変わって認知症状が悪化したように感じました。ベッドで過ごす時間が長いせいか、足首のむくみもひどくなっていました。お化粧品をしたことで気分が少し華やいだのか笑顔になりましたが、ご家族は今までよりも夜中にケアすることが多くなり大変そうでした。長男の方が泊まりに来られたりしていたので長女の方へのケアはできなくなりました。デイサービスの回数を増やすようにして昼に休むようになったそうです。

私が訪問した後の回診時には先生が「エステは気持ちよかった？」と声をかけてくださったそうです。いつしてもらったかは不明だけど、美容ケアを受けて「気分が良かった」とお答えしていたそうです。

美容ケアの様子をみて長男のかたが大変喜んでいらっしゃいました。「母のようにきちんと服を着替えてお化粧品をしたいといった女性にこのようなケアは必要だと思うけど、いくらぐらいかかるのですか？」と聞かれました。NPOとして目指している金額やシステムをお話しましたが、訪問美容ケアが世の中に広まり、ご自宅で治療を受けていらっしゃる方やご家族が気分良く過ごせるサポートができればと思います。

ケースNo.	6
名前	F.K
年齢	88
性別	女性
居住地	東京
病名	認知症 大腸ガン
症状	○右手しびれ ○両膝下むくみ ○耳が遠い
経歴	○活発な方 ○起きるとスキンケアやメイキャップ(ファンデーション、口紅)をする ○その場のことはしっかりしているが、次の日には忘れる
介護者	長女
施術者	光江弘恵
開始月日	平成23年9月10日～平成24年7月16日 9回
施術内容	○ハンドケア ○膝下ケア ○フェイシャルケア ○メイクアップ
経過(本人)	○アロマテラピーに興味あるので香のあるボディミルクを使用 ○正月に転倒し入院 ○認知症が進む ○ひざ下のむくみが強くなった
効果(本人)	○気持ちよくして、うれしそう ○外で人に会いたいと意欲 ○鏡をみて喜ぶ ○いきいきしてきた ○毎回楽しみにしている
評価(本人)	(5)○楽しみが少ないので喜びになって良かった○ショートステイでほめられ喜んでい (本人)
経過(家族)	○ハンドケアがとても気持ちよく癒される
効果(家族)	○フェイシャルケアをしていただいてスッキリした ○母はケアしていただいたことを次の日には忘れてしまうが、一瞬でも、その時だけでもいい気持ちになれば良いと思う。
評価(家族)	(4) 短い時間でもハンドマッサージやフェイシャルなど受けてリラックスしていただけた 光江(エステティシャン)
コメント(施設)	認知も併発している患者さんでしたがソシオエステにより美しくなることで喜びを感じていたようです。傾聴、共感の手当によって本心(音)の表出がよい効果を引き出している。
評価(施設)	(5) 吉澤明孝 (医師)

在宅医療におけるソシオエステティックの有効性について・ケース7

(光江弘恵/東京都)

先生からの紹介で合計2回訪問させていただきました。

末期の肺がんを患っていて自宅で酸素を吸入しながらお過ごしの方でした。チューブをはずすことが出来ないのでお顔のケアは行わず、ハンドケアとフットケアをさせていただきました。

ほとんど横になって過ごす時間が多いようで、全身のだるさを訴えていらっしゃいました。ハンドケアもフットケアも強めにすると気持ちが良いとのことでした。皮膚が乾燥していらっしゃったので摩擦にならないよう、ミルクをたっぷり使いながら強弱の圧をつけるようにしてケアしました。私自身の反省点ですが、自身の手がなかなか温かくならず冷たい手のまま触れてしまいました。サロンではお湯で手を温めたり出来るのですが、訪問の場合は何か工夫が必要でした。

ボディミルクの香りを選んでいただくことで、少しでも気分転換していただきたいと思い香りのちがうものをいくつか用意しました。ご主人が近くで新聞を読みながら時々様子を見てくださっている感じでしたがほとんどお話をされなかったので訪問に対して好意的ではなかったのかな？と感じました。

美容ケア訪問後の回診で先生が感想を聞いてみたところ「家内が気持ちよさそうにしていたので良かった」とご主人も喜んでおられたとお聞きしましたのでほっとしました。末期の状態であってもご本人がしっかりされている場合、必要以上にご家族に話をすることがないのでご家族への効果はよくわかりませんでした。(シートでの5段階評価は低くしました)

三回目の訪問のご連絡を入れさせていただいたところ、数日前にお亡くなりになったとお聞きし、末期の在宅医療はケースによって残された時間がまったく違うのだと改めて感じました。日ごろから先生より在宅ケアは「患者さまが家族と自宅で穏やかに過ごす時間を支える医療である」と言われますが、貴重な時間にお伺いするのだということをしっかり心に留めて今後も活動をしたいと感じました。

ケースNo.	7
名前	M.K
年齢	61
性別	女性
居住地	東京
病名	肺がん 間質性肺炎
症状	○酸素吸入をされながら静養
経歴	Drからの紹介 終末期ケア
介護者	夫
施術者	光江弘恵
開始月日	平成24年2月18日～3月18日 2回
施術内容	○ハンドケア ○膝下ケア
経過(本人)	○手足がだるいのでマッサージをしてもらえるのは嬉しい
効果(本人)	○あまりよくわからない
評価(本人)	(3)1回目はよくわからなかったが2回目は少し足がすっきりした(本人)
経過(家族)	○特になし
効果(家族)	近くにいらしたが新聞を読まれていてお話をうかがうことはなかった
評価(家族)	(2)訪問日を土曜日にしていましたが平日を希望されていた 光江(エステティシャン)
コメント(施設)	ソシオエステにより笑顔がもどった。傾聴、共感、手当により不安が表出された。
評価(施設)	(5) 吉澤明孝 (医師)

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による旨

ケースNo.	8
名前	M.I
年齢	
性別	女性
居住地	久留米
病名	子宮ガン(末期)
症状	○右足のリンパ浮腫○大腿部から足の裏まで1, 5倍にはれている
経歴	
介護者	
施術者	江頭裕美
開始月日	平成23年12月15日～平成23年3月8日 6回
施術内容	○リンパマッサージ(アロマオイルによる)
経過(本人)	○右足のリンパ浮腫がかなりひどい ○部分的に石のように固い○3/28急変のためキャンセル、意識がもうろうとしている中でも「エステの先生に連絡を」と最後まで気にされていた
効果(本人)	○マッサージ後は腫れがひくがあまり変化は見られない
評価(本人)	○次回が楽しみ ○外出したくなった ○自分でもやってみたい ○うれしい ○以前より少しでもよくなったことがあると希望がもてる
経過(家族)	
評価(家族)	()
コメント(施設)	<p>膣がんにて両下肢の浮腫が著明。室内歩行も困難になっていた。戦後数年前まで看護師として働かれた経験もあり、自分で下肢のマッサージをされていたが、倦怠感増強とともに訪問看護のマッサージも受け入れられ始めた時にソシオエステを依頼した。エステ施術の効果あり、下肢浮腫の軽減を認めた。ソシオ・エステシャンより訪問看護にもマッサージの方法を指導していただき、ケアの継続がはかられた。下肢浮腫軽減により、老人会への出席もはたされた。ある日、訪問した際、町の常会当番とのことで、お元気にお茶の用意をされ、「足の腫れが軽くなったから、社会に貢献しないといけないわね」などとお話されていた。常会では、町内の皆様と歓談されたと聞いている。その深夜、大量の性器出血あり、翌日永眠された。後日、グリーンケアに訪問した際、夫より、「最期まで元気に自宅で過ごせてよかった。常会に出席された町の皆さんも、びっくりしていた。」と自宅療養できたことに満足されていた。エステによる下肢浮腫軽減が、在宅医療の継続、患者の社会参加を支援したケースである。</p> <p style="text-align: right;">鐘ヶ江寿美子</p>
評価(施設)	

ケースNo.	9
名前	K.M
年齢	
性別	女性
居住地	久留米
病名	糖尿病・ガン
症状	○血流障害 ○リンパ浮腫
経歴	○糖尿病による血流障害で浮腫がある
介護者	
施術者	江頭裕美
開始月日	平成24年5月11日～平成24年6月14日 3回
施術内容	○リンパマッサージ(アロマオイルによる)
経過(本人)	○リンパマッサージをするときもちよく、足が軽くなるようだ
効果(本人)	○マッサージをすると腫れがひく
評価(本人)	○毎回楽しみにしている
経過(家族)	
評価(家族)	()
コメント(施設)	<p>原発不明癌・多発骨転移にて化学療法後、現在女性ホルモンの維持療法中。ホルモン製剤の副作用による体重増加が著しく、それに伴い下肢浮腫あり。また、原疾患および化学療法中の廃用に伴う下肢筋力低下あり、階段昇降に介助が必要。2階の自室兼リビングで終日過ごされ、運動量も少なく、気分転換はもっぱら韓流映画という生活。ソシオエステ施術は2週間に1回。施術後3日間は下肢浮腫の軽減あり、下肢の違和感も緩和できている。また、施術者とのコミュニケーションが生活圏に制限がある患者にとって、精神的な支援になっている。エステを受け、体形を気にされるようになり、整容にも気遣いがみられ始めた。今まで運動療法には消極的であったが、流行の「ロング・プレス法」を始められ、以前より意欲的になっている。本人ともども、施術がより頻回に受けられる環境（施術者の育成など）が整えられることを願っている。</p> <p style="text-align: right;">鐘ヶ江寿美子</p>
評価(施設)	

ケースNo.	10
名前	K,T
年齢	
性別	女性
居住地	久留米
病名	ガン
症状	○ガンによる痛み ○リンパ浮腫
経歴	○
介護者	
施術者	江頭裕美
開始月日	平成24年4月17日～平成24年4月27日 2回
施術内容	○リンパマッサージ(アロマオイルによる)
経過(本人)	○山の話などをする
効果(本人)	
評価(本人)	
経過(家族)	
評価(家族)	
コメント(施設)	<p>腹膜癌にて大量腹水、下肢リンパ浮腫が著明。山登りが趣味という「自然大好き」の患者は代替療法にも関心が高く、香りなどにも敏感で、アロマセラピーにも興味を示していた。認知症の夫の介護もあり、癌を患いながらも自らを「癒す」という機会に恵まれていなかった。他人の支援を遠慮・拒否する傾向がみられていた。施術開始後、「気持ちよかった」と大喜び。下肢浮腫は非常に軽減された(訪問看護で下肢周径を測定しているかと思えます)。また、以前は他人のことばかりを気遣っていたが、自らのからだの快・不快を素直に表現できるようになられた。長男にも死後のことをお願いされ、「在宅ケアって最高ね」と言われていた。腹水増量に伴う呼吸苦により入院。入院先では、自分の葬儀時にかかるCDを選ばれ「今、とても幸せ」と語られた。その2日後、永眠された。エステにて浮腫が軽減されたばかりでなく、心地よさを体感され、自分を大事にすること(self care)ができたことも大きな効果であったと思われる。</p> <p style="text-align: right;">鐘ヶ江寿美子</p>
評価(施設)	